

## 倫理講義 11 社会主義の思想 マルクスが主役

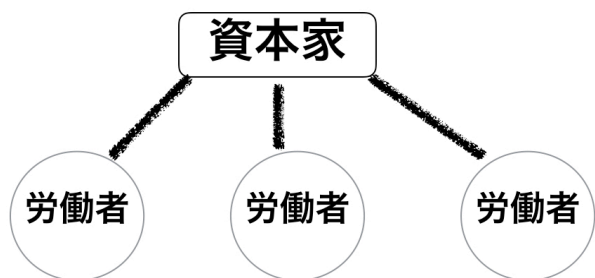
**得点源** 空想的社会主義は、オーウェンのニューハーモニー村とフーリエのファランジュをおさえよう！

### 【 空想的社会主義 】

- (1) **オーウェン** …人道的な共同体＝ニューハーモニー村の建設。
- (2) **サン＝シモン** …産業者（資本家・労働者・科学者など）が自主的に管理・支配する産業社会を構想。
- (3) **フーリエ** …ファランジュと呼ばれる、農業を基礎にした理想的な共同社会を目指した。

### マルクス

マルクスの主張「**労働者中心の搾取のない平等社会を作ろうという考え**」。資本主義が抱える問題点は歴史的に繰り返されてきた。古代において働くのは奴隷だけど、その労働で儲けたのは主人だ。中世において働くのは農民だけど、その労働によって得られた生産物を年貢と称して奪ったのは領主である。近代の資本主義における労働者と資本家の関係も同じだ。マルクスは、これを「**生産力と生産関係の矛盾**」と呼んだ。そして、その矛盾は**階級闘争**を引き起こす原因となり、この階級闘争が歴史を動かす原動力となるとした。マルクスは、**歴史を動かすのは人間の意識ではなく、人間の物質的な生産活動である**と説いた。こういうマルクスの歴史観を**唯物史観**という。



- ①資本家が生産物を→**搾取**する
- ②労働者が→**搾取**される
- ③貧富の差が拡大する

では、労働者は何をすればいいのか。

まずマルクスは、社会構造を下部構造（**経済制度**）と上部構造（**法・政治制度**）に分けて、「**下部構造は上部構造を規律する**」と考えた。今、資本主義社会では、下

部構造も上部構造もいずれも資本家に利益がもたらされるように作られている。これを改善するためには、労働者はまず下部構造、つまり経済構造を資本家から奪い取り、労働者に有利なものに作り替えなければならない。そして、下部構造を労働者のものにする事ができれば、上部構造も労働者に優位なものにすることができると。

では、労働者が階級闘争によって資本家を打倒した後、誰が労働者に賃金を支払うのか。マルクスは国家だという。社会主義社会は、労働者は国家に労働力を提供し、国家が労働者に賃金を平等に分配するシステムなんだ。

### 満点の極意Ⅰ

**科学的社会主義は、疎外、唯物史観、階級闘争を理解しよう！**

#### 【科学的社会主義(マルクス主義)】

- (1) **労働の疎外**（疎外された労働）…人間の労働によって作りだされたものが、人間性を圧迫し、人間から人間らしさを奪いとる。
- (2) 類的存在…本質的に社会的動物である人間の存在のこと。
- (3) 下部構造…経済的な生産様式（経済システム）。社会の土台をなす。
- (4) 上部構造…法律・文化・学問・宗教などの政治的・精神的な所産（イデオロギー）。下部構造によって規定される。
- (5) **唯物史観**（史的唯物論）…生産力が発展すると、生産関係と上部構造をくつがえす**社会革命**がおこるという歴史観。
- (6) 階級闘争 …マルクスは、人類の歴史は敵対する二大階級の間の階級闘争の歴史だと解釈した。

### 満点の極意Ⅱ

**マルクス主義に影響された人物とその主張を理解しよう！**

- (1) **レーニン** …ロシア革命の指導者。著書『帝国主義論』  
プロレタリアート独裁…共産主義への過度期としての共産党独裁。
- (2) **毛沢東** …中国の半封建的・半植民地的状況を分析して、中国独自の社会主義を模索し、これを実践しようと考えた（新民主主義）。

### 2018 追試 倫理・政経 マルクスの思想

次の文章は、マルクスの思想についての説明である。【 a 】～【 c 】に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから選べ。

マルクスによれば、人間の歴史の基礎をなすのは生産活動である。生産活動が土台となり、そのうえに人間の精神的な活動が成り立つ。土台としての生産活動は、生産関係と【 a 】とから成り、生産関係は固定化される傾向にあるのに対して、【 a 】は絶えず増大する傾向にあるため、両者の間に矛盾が生じる。それによって、【 b 】が激化し、社会変動や社会革命につながる。マルクスは、資本主義の進展によって労働の疎外が甚だしくなる状況において、全世界の労働者が団結して革命を起こし、最終的に【 c 】の体制へ移行すると主張した。

- ① a 労働力 b 万人の万人に対する闘争 c 社会民主主義
- ② a 労働力 b 万人の万人に対する闘争 c 共産主義

Pain is inevitable Suffering is optional

- |   |       |               |          |
|---|-------|---------------|----------|
| ③ | a 労働力 | b 階級闘争        | c 社会民主主義 |
| ④ | a 労働力 | b 階級闘争        | c 共産主義   |
| ⑤ | a 生産力 | b 万人の万人に対する闘争 | c 社会民主主義 |
| ⑥ | a 生産力 | b 万人の万人に対する闘争 | c 共産主義   |
| ⑦ | a 生産力 | b 階級闘争        | c 社会民主主義 |
| ⑧ | a 生産力 | b 階級闘争        | c 共産主義   |

正解→⑧

### マルクスとエンゲルスの思想

マルクスとエンゲルスの思想として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 資本主義社会においては、土地や工場など生産活動に必要なものをもつ人々と、そこで働くだけの人々との関係が、政治や芸術などの人間の精神的な営みを規定すると考えた。
- ② 社会は個人をすべて合わせたものなので、社会の幸福を最も大きくするためには、最も多くの個人ができるだけ幸福になる必要があり、その目的の達成が社会の改革の基準となると考えた。
- ③ 世界は、絶対精神が自ら現実のものとなることによって展開していくのであり、労働者や資本家の意識や、その両者の関係は、絶対精神が客観的に実現されたものであると考えた。
- ④ いかなる状況にあっても人間は相互に助け合わなければならないので、主に資本家の善意に基づき、人間が平等に扱われる理想的な共同体を作り出すことで、幸福な社会が実現すると考えた。

正解→①